

平成29年6月9日

1. 出席議員

| | | | |
|-----|-------|------|------|
| 1 番 | 杉原元博 | 9 番 | 伊東茂 |
| 2 番 | 片渕清次郎 | 10 番 | 松本末治 |
| 3 番 | 樋口作二 | 11 番 | 光武学 |
| 4 番 | 中村和典 | 12 番 | 徳村博紀 |
| 5 番 | 松田義太 | 13 番 | 福井正 |
| 6 番 | 中村一堯 | 14 番 | 松尾征子 |
| 7 番 | 稲富雅和 | 15 番 | 角田一美 |
| 8 番 | 勝屋弘貞 | 16 番 | 松尾勝利 |

2. 欠席議員

なし

3. 本会議に出席した事務局職員

| | |
|---------|------|
| 事務局長 | 橋村直子 |
| 議事管理係長 | 迎英昭 |
| 議事管理係主任 | 北原陽子 |

4. 地方自治法第121条により出席した者

| | | | | | |
|---|--------------------|---|---|---|----|
| 市 | 長 | 樋 | 口 | 久 | 俊 |
| 副 | 市長 | 藤 | 田 | 洋 | 一郎 |
| 教 | 育 | 江 | 島 | 秀 | 隆 |
| 総 | 務 | 有 | 森 | 弘 | 茂 |
| 市 | 民部長兼福祉事務所長 | 有 | 森 | 滋 | 樹 |
| 産 | 業 | 橋 | 村 | | 勉 |
| 建 | 設 | 栗 | 林 | 雅 | 彦 |
| 会 | 計 | 吉 | 田 | 範 | 昭 |
| 総 | 務 | 大 | 代 | 昌 | 浩 |
| 人 | 権・同和対策課長 | 江 | 口 | 清 | 一 |
| 企 | 画財政課長兼選挙管理委員会事務局参事 | 土 | 井 | 正 | 昭 |
| 企 | 画財政課参事兼選挙管理委員会事務局長 | 川 | 原 | 逸 | 生 |
| 市 | 民 | 幸 | 尾 | か | おる |
| 税 | 務 | 中 | 島 | 憲 | 次 |
| 福 | 祉 | 染 | 川 | 康 | 輔 |
| 保 | 険 | 田 | 崎 | | 靖 |
| 農 | 林 | 下 | 村 | 浩 | 信 |
| 産 | 業 | 橋 | 口 | | 浩 |
| 商 | 工 | 藤 | 家 | | 隆 |
| 産 | 業 | 江 | 島 | 裕 | 臣 |
| 都 | 市 | 岩 | 下 | 善 | 孝 |
| 都 | 市 | 岸 | 川 | | 修 |
| 環 | 境 | 山 | 浦 | 康 | 則 |
| 水 | 道 | 広 | 瀬 | 義 | 樹 |
| 教 | 育 | 寺 | 山 | 靖 | 久 |
| 教 | 育 | 針 | 長 | 三 | 州 |
| 生 | 涯 | 山 | 崎 | 公 | 和 |

平成29年6月9日（金）議事日程

開 会・開 議（午前10時）

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 常任委員の選任の報告
日程第4 議会運営委員の選任の報告
日程第5 特別委員の選任の報告
日程第6 議案の一括上程（市長の提案理由説明）
-

午前10時 開会

○議長（松尾勝利君）

おはようございます。ただいまから平成29年鹿島市議会6月定例会を開会いたします。
会議に先立ちまして申し上げます。

執行部におきましては、環境負荷の軽減、職員の公務能力の維持向上を図るために、5月1日から10月31日までの期間について、特別の場合を除いてノー上着、ノーネクタイの推奨に取り組んでおられます。議会には、先例等申し合わせ事項で議会における服装についての規定がありますが、本定例会においては、ノーネクタイのクールビズ対応としたいと思います。

なお、上着の着用については個人の裁量に任せたいと思います。

去る5月24日、東京都で開催をされました第93回全国市議会議長会定期総会におきまして、鹿島市議会から5名の議員が表彰を受けられました。議員名と表彰内容を申し上げます。

松尾征子議員、議員35年表彰。光武学議員、議員10年表彰。松本末治議員、議員10年表彰。伊東茂議員、議員10年表彰。私、松尾勝利、議員10年、議長4年、全国市議会議長会評議員表彰。

以上です。

ただいまから表彰状を伝達いたしますので、演壇の前をお願いいたします。

〔表彰状伝達〕

表 彰 状

鹿島市 松 尾 征 子 殿

あなたは市議会議員として35年の長きにわたって市政の発展に尽くされその功績は特に著しいものがありますので第93回定期総会にあたり本会表彰規程によって特別表彰をいたします

平成29年 5 月24日

全国市議会議長会
会長 山 田 一 仁

代読。おめでとうございます。

〔拍手〕

表 彰 状

鹿島市 光 武 学 殿

あなたは市議会議員として10年市政の振興に努められその功績は著しいものがありますので第93回定期総会にあたり本会表彰規程により表彰いたします

平成29年 5 月24日

全国市議会議長会
会長 山 田 一 仁

代読。おめでとうございます。

〔拍手〕

表 彰 状

鹿島市 松 本 末 治 殿

以下同文です。おめでとうございます。

〔拍手〕

表 彰 状

鹿島市 伊 東 茂 殿

以下同文です。おめでとうございます。

〔拍手〕

○副議長（角田一美君）

表 彰 状

鹿島市 松 尾 勝 利 殿

あなたは市議会正副議長として4年市政の振興に努められその功績は著しいものがありま

すので第93回定期総会にあたり本会表彰規程により表彰いたします

平成29年5月24日

全国市議会議長会
会長 山田 一 仁

代読。どうもおめでとうございます。

〔拍手〕

表 彰 状

鹿島市 松尾 勝利 殿

あなたは市議会議員として10年市政の振興に努められその功績は著しいものがありますので第93回定期総会にあたり本会表彰規程により表彰いたします

平成29年5月24日

全国市議会議長会
会長 山田 一 仁

代読。どうもおめでとうございます。

〔拍手〕

感 謝 状

鹿島市 松尾 勝利 殿

あなたは全国市議会議長会評議員として会務運営の重責にあたられ本会の使命達成に尽くされた功績は誠に顕著なものがありますので第93回定期総会にあたり深甚な感謝の意を表します

平成29年5月24日

全国市議会議長会
会長 山田 一 仁

代読。どうもお疲れさまです。おめでとうございます。

〔拍手〕

○議長（松尾勝利君）

以上で表彰状の伝達式を終わります。

それでは、ただいまから平成29年鹿島市議会6月定例会を開会いたします。

日程は、お手元の日程表どおりといたします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（松尾勝利君）

まず、日程第1．会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、7番稲富雅和議員、8番勝屋弘貞議員、9番伊東茂議員を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（松尾勝利君）

次に、日程第2．会期の決定を議題といたします。

今期定例会の会期は、お手元の会期日程（案）のとおり、本日から6月23日までの15日間といたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾勝利君）

御異議ないものと認めます。よって、会期は15日間と決定いたしました。

日程第3 常任委員の選任の報告

○議長（松尾勝利君）

次に、日程第3．常任委員の選任の報告を行います。

常任委員の選任については、鹿島市議会委員会条例第8条第4項の規定により報告をいたします。

総務建設環境委員会委員長、光武学議員、同副委員長、中村和典議員、同委員、杉原元博議員、松田義太議員、松本末治議員、徳村博紀議員、福井正議員、私、松尾勝利。

文教厚生産業委員会委員長、稲富雅和議員、同副委員長、勝屋弘貞議員、同委員、片渕清次郎議員、樋口作二議員、中村一堯議員、伊東茂議員、松尾征子議員、角田一美議員。

以上のとおり報告をいたします。

日程第4 議会運営委員の選任の報告

○議長（松尾勝利君）

次に、日程第4．議会運営委員の選任の報告を行います。

議会運営委員の選任についても、条例の規定により報告をいたします。

議会運営委員会委員長、福井正議員、同副委員長、徳村博紀議員、同委員、光武学議員、伊東茂議員、勝屋弘貞議員、稲富雅和議員。

以上のとおり報告いたします。

日程第5 特別委員の選任の報告

○議長（松尾勝利君）

次に、日程第5．特別委員の選任の報告を行います。

特別委員の選任についても、条例の規定により報告をいたします。

報告につきましては、委員の変更があった特別委員会のみといたします。

地方創生対策特別委員会委員長、中村一堯議員、同副委員長、樋口作二議員、同委員、杉原元博議員、稲富雅和議員、松本末治議員、光武学議員、福井正議員。

以上のとおり報告いたします。

この際、事務局長をして諸般の報告をいたさせます。橋村事務局長。

○議会事務局長（橋村直子君）

諸般の報告をいたします。

まず、本日招集の6月定例会に市長から報告3件、議案7件の提出がありました。報告事項、議案番号及び議案名は、お手元に配付しております議案書の目次に記載のとおりでございます。

次に、監査委員から平成28年度3月分の出納検査結果及び平成28年度定期監査結果の報告がありました。その写しをお手元に配付いたしております。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第6 議案の一括上程（市長の提案理由説明）

○議長（松尾勝利君）

それでは、日程第6．議案の一括上程であります。

報告第3号から報告第5号並びに議案第27号から議案第33号までの10議案を一括して上程いたします。

市長の提案理由の説明を求めます。樋口市長。

○市長（樋口久俊君）

皆さんおはようございます。梅雨に入りまして、つかの間の好天でございます。どうやらお天気の神様も御機嫌がきょうはいいようでございますが、その好天のもとで本日、永年勤続の表彰を受けられました議員の皆様にも、まずお祝いとお礼を申し上げたいと思います。

さらに、重ねて今後の御活躍をお願いするところでございます。

それでは、鹿島市議会平成29年6月定例会を招集し、諸案件につきまして御審議をお願いするものでございますが、議案の提案に先立ちまして、鹿島市を取り巻く最近の情勢や今後の主要な施策について申し上げます。

私が市長2期目に就任をして、早いもので3年が経過をいたしております。2期の1年目は、市制施行から節目の60周年になる年でございます。地域資源を生かしたまちづくりを掲げ、新たなスタートを切った年でもありました。そしてこれまで、市民の皆様と行政が協働をして、地域の宝にスポットライトを当て磨き上げた取り組みが幾つか成果としてあらわれてきたように思います。同時に、市民交流プラザ「かたらい」の開設や、防災・防疫・災害対策本部機能などを集約した鹿島新世紀センターの完成など、鹿島シビックセンターの再整備が大きく進展したことで暮らしやすいまちへと着実に歩みを進めているものと思ってお

ります。

一方、国内の3年間で振り返りますと、昨年4月に発生しました熊本地震や数次の大雨災害により、防災や危機管理に対する国民の意識が一層高まってきたと思っております。

また、地方創生の流れの中で、各地方はそれぞれの地域の持てる力、特性を生かして対応しておりますが、その中で、とりわけ道路の持つ役割、位置づけが大きく重みを増してくるとともに、その格差が地域の経済社会の発展に少なくない影響を与えることが明確になってきました。

この防災と道路の問題は、対策を急がなければいけないと考えており、まずはこの2点について、最近の本市を取り巻く動向につきまして申し上げたいと思います。

1つ目の防災や危機管理につきましては、先ほど申しました鹿島新世紀センターの稼働や必要な情報を瞬時に各家庭にお伝えすることができる防災情報伝達システムの充実によりまして、防災のハード面は一定の強化が図られました。それに加え、ソフト面の動きも加速をされております。先月の11日から12日に開催をされました九州市長会におきまして、熊本地震を教訓に策定をされました九州市長会における災害時相互支援プランが承認をされました。

この災害時相互支援プランは、震度6以上の大規模災害時に国や県からの本格支援がなされるまでの即応支援として、被災地以外の市から情報収集員の派遣や物資輸送を中心とした避難所支援などを行うことになっております。さらにこのプランには、支援を受ける自治体の体制を確立することも盛り込まれております。物資を必要としている被災者に必要な物資がスムーズに届くように、物資集積拠点や援助を受ける調整窓口の設置などを定めた受援計画を九州全市が策定を促進させる内容となっております。

プランの細部につきましては、今後詰められることとなりますが、平時の備えとして、受援計画策定に向け協議を行い、災害時相互支援プランが本格的に機能することで、災害に強いまちづくりにまた一步近づくものと思っております。

2つ目の鹿島市にとって長年の課題であります高速交通体系の問題ですが、これは単に人や物の流れとのかかわりがあることに加えて、安全や安心、つまり人の命に直接かかわる問題につながるということが認識をされてきたことから、改めてこの問題に適切な対応が求められています。

具体的には、いわゆるミッシングリンクの典型的な事例とされております有明海沿岸道路、そして国道498号線については、これまでも国土交通省や佐賀県に対して再三粘り強くその対応を要請してまいりましたが、先般、熊本市で開催をされました九州国道協会に私も出席をし、そこでの決議の中において、国への主要な要請課題として取り上げられたことも踏まえて、さらに強力に行動を推進していくこととしております。

次に、鹿島市拠点地域連携促進対策会議について申し上げます。

本年度は第六次総合計画を本格化、加速化させる年と位置づけておりますが、そのために

は、効果的、効率的な施策の展開が必要であると考えています。総合計画に盛り込まれています肥前浜宿、祐徳門前、道の駅鹿島の拠点施設整備を点としてではなく、それらを結ぶ線、さらには面としての活用を考え整備することで、施策の効果が上がることが期待できます。そのために、関係部署で構成する鹿島市拠点地域連携促進対策会議を4月に発足させたところでございます。これによりまして、総合計画に掲げてあります主要施策であります祐徳稲荷神社を核とした市内回遊の仕掛けづくりを大きく前進させ、交流人口の拡大や本市滞在時間の増、ひいては雇用、産業、まちのにぎわい創出を図ってまいりたいと考えています。

次に、肥前浜宿に関係する国の地方創生拠点整備交付金事業について、2つ御報告申し上げます。

1つ目は、肥前浜駅の駅舎改修でございます。これは既に御報告しておりますが、昨年度末に佐賀県で採択を受けまして、今年度末の完成に向け、佐賀県やJR、学識者、地元住民の皆様との調整を開始しております。来年度の初めには、昭和初期に見られた懐かしい姿に戻った駅舎を市民の皆様や観光客の皆様にごらんをいただけるよう改修工事を進めていくこととしております。

2つ目は、肥前浜宿における空き町家を活用した移住定住促進プロジェクト、事業名でいいますと、肥前浜宿移住体験施設整備事業でございます。これは先月、鹿島市が国から採択を受けた事業でございます。鹿島市に興味を持ち移住してみたいと思っておられる方に一定期間、お試し移住体験として住んでいただく、いわゆるトライアル居住をしていただくための施設整備事業です。肥前浜宿の重要伝統的建造物群保存地区内で空き家となっておりますカヤぶきの町家を市で借り受けて、水回りや空調設備など日常生活が可能な環境にするための整備を行うものでございます。この体験型移住の取り組みを軌道に乗せることで、移住や定住の促進、空き家の解消、肥前浜宿のアピール、そして地域の活性化やにぎわいの創出につなげていく計画でございます。

次に、農水産物の状況について申し上げます。

まず、タマネギにつきましては、昨年産がべと病の大発生により大幅な収量減少となりました。このことを踏まえ、昨年12月の市議会定例会において、べと病の防除効果が高い予防剤、マンゼブ剤の購入補助と罹病株を抜き取り焼却処分をするべと病対策の予算を議決していただき、実施いたしました。これらの対策の結果、現時点ではべと病の発生も少なく、病気の蔓延が防がれている状況でございます。

次に、ミカンにつきましては、市の単独事業であります根域制限高畝マルチ栽培事業を昨年度も実施をし、関係者からも根域制限栽培といえば鹿島と言われるほど現在は産地として確立をいたしております。

温州ミカン全体では、平成28年産は前年と比較して、数量は約400万トン減少いたしておりますが、キロ単価が平均約50円上昇したため、販売金額は約110,000千円増加しており、

市場からの評価も高くなっております。

次に、ノリをめぐる状況でございます。平成28年度産につきましては、秋芽ノリは比較的良好な海況でございましたが、冷凍ノリにつきましては、赤潮の発生で網の張り込みが約2週間延期をされました。その後も赤潮の影響は続き、栄養塩不足によるノリの色落ちが発生をしました。漁業者の方を初め漁協や関係機関によります施肥などの取り組みや、県によりますダム放流で、少しは海の状況の改善が見られたものの、好転するまでには至りませんでした。

市としましては、色落ちによる販売単価の減少と施肥の費用負担による漁業経営の圧迫に対しまして、施肥に係る経費について一部助成を行ったところです。

最終的に、平成28年度におけるノリの生産枚数は約1億4,000万枚、計画達成率は約81%でありましたが、比較的単価が高かったため販売額は約19億円、計画達成率は約106%となっております。

農林水産業の経営安定は、第1次産業の振興に欠かすことのできないものであります。今後とも関係機関、団体と連携、情報共有を図り、産業振興に取り組んでいきたいと考えています。

次に、ふるさと納税について申し上げます。

昨年度からふるさと納税の取り組みを強化したことにより、前年であります平成27年度には174件、6,440千円だったふるさと鹿島応援寄附金が、平成28年度には6,097件、103,331千円、前年度比で約16倍、目標としていた1億円に到達をすることができました。

御承知のように、ふるさと納税制度は、生まれ育ったふるさとに貢献できる制度、自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度として、平成20年度に創設をされております。ふるさと納税という制度が広く認知をされてきたことや、ふるさと納税で受けられる個人住民税の控除限度額が約2倍に拡充されたこと、税額控除を受けるための確定申告が不要となるワンストップ特例制度が始まったことなどにより全国的に申込額が急増いたしており、自治体にとって重要な財源として今後も増加をしていくことが期待をされております。

しかしながら、一方では、現在のふるさと納税制度は本来の趣旨が薄れ、返礼品を目的にして寄附する自治体を選ぶという人も多く、また自治体も多くの寄附を集めようとして、高額な返礼品を導入するなど、過熱する自治体間の返礼品競争が問題視をされています。

そのような中、総務省から本年4月に、返礼品価格を寄附額の3割までに抑えることなどが全国の自治体に要請をされました。

本市のふるさと納税推進についての考え方としては、これまで一貫して制度本来の趣旨を重視してまいりました。今回の総務省の要請が全国の自治体に徹底されることで、かえって本市の取り組みに目を向けていただく機会や応援していただく方がより一層ふえていくということを期待しております。

今後も継続して、豊富な第1次産品を初めとする鹿島らしい特産品を地元の事業者の皆様とともにPRし、ふるさと納税を通して、納税者の志と声援に応えられる施策の実施と鹿島市の魅力を全国に発信していけるよう努力してまいります。

最後に、佐賀発地域ドラマについて申し上げます。

新聞や報道などで皆様既に御承知かと思いますが、鹿島市の干潟や祐徳稲荷神社、そして嬉野市の温泉を舞台にしたNHKの佐賀発地域ドラマ「ガタの国から」が制作をされました。

今回のドラマ撮影では、佐賀放送局のスタッフが中心となって、解像度の優れた4K専用機材で撮影をされたほか、海外の人気俳優を主演に起用するなど全国でも珍しい取り組みがなされたと聞いております。

撮影は、4月15日から28日までの14日間をかけて無事に終了し、撮影期間中において、地元の方約60名にエキストラやボランティアスタッフとして参加をしていただきました。また、ドラマの脚本は、有名な脚本家が手がけられ、鹿島や佐賀にゆかりのある方も出演をされております。

佐賀の地域ドラマとして、県内に数ある地域資源の中から鹿島が選ばれたのは、これまでの皆様方の努力によって地域の魅力や思いが全国に伝わってきているからだと思っております。

放送日は来月、7月19日の水曜日、午後10時から、NHKBSプレミアムで放送されますので、ごらんいただければと思います。このドラマ放送をきっかけに全国から鹿島を訪れていただき、交流人口の拡大につながっていけばと期待をしております。

それでは、提案をいたしました案件につきまして、その概要を御説明いたします。

議案は、報告3件、専決処分事項の承認1件、条例廃止1件、条例改正2件、補正予算2件、その他1件の合計10件でございます。

初めに、報告第3号 平成28年度鹿島市一般会計繰越明許費繰越計算書について申し上げます。

これは、平成28年度の予算執行段階で諸般の事情により予算の一部を平成29年度に繰り越して使用することといたしましたので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告いたすものでございます。

次に、報告第4号 平成28年度鹿島市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について申し上げます。

これは、さきの3月市議会定例会におきまして繰り越しの御承認をいただいておりますが、諸般の事情により繰り越しの必要がなくなりましたので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告いたすものでございます。

続きまして、報告第5号 平成29年度鹿島市土地開発公社事業計画について申し上げます。

鹿島市土地開発公社の経営状況につきましては、地方自治法第243条の3第2項の規定に

より、平成29年度事業計画書の写しを提出し報告いたすものでございます。

次に、議案第27号 専決処分事項（平成29年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号））の承認に係る議案について申し上げます。

専決処分いたしました補正予算につきましては、予算の総額に128,023千円を追加し、予算の総額を4,875,172千円といたしたものでございます。

補正の内容といたしましては、平成28年度の国保会計において決算不足金が生じたため、この補填金として128,023千円を平成29年度予算から繰り上げ充用いたすものでございます。

続きまして、条例に関する議案3件について申し上げます。

まず、議案第28号 鹿島市農村婦人の家設置条例を廃止する条例の制定について申し上げます。

農村婦人の家は、農村婦人の生活改善と地域社会生活の充実を図るため、昭和61年に設置をいたしました。現在の利用状況などに鑑み、施設の設置目的を達成したものととして条例を廃止するものでございます。

続きまして、議案第29号 鹿島市税条例の一部を改正する条例の制定について申し上げます。

地方税法の一部改正に伴い、固定資産税に係る特例の新設、軽自動車税における特例期間の延長などについて所要の改正を行うものでございます。

次に、議案第30号 鹿島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について申し上げます。

これは、国が定める特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴うものでございまして、保育所等への入所を希望する保護者に交付する支給認定証の取り扱いについて、通知書で代替できるように改正をするものでございます。

続きまして、補正予算に関する議案について申し上げます。

まず、議案第31号 平成29年度鹿島市一般会計補正予算（第1号）について申し上げます。

今回の補正は、予算の総額に167,917千円を追加し、補正後の総額を13,046,917千円といたすものでございます。

歳入につきましては、国の当初予算成立に伴う事業採択による国県補助金などの増のほか、さが未来スイッチ交付金やコミュニティ助成事業助成金、基金繰入金などを計上いたしております。

歳出のうち主な事業としては、総務費及び消防費では、コミュニティ助成事業を新規に計上いたしております。

また、さが未来スイッチ交付金事業につきましては、事業採択に伴い、増額計上いたしております。

教育費では、明治維新150年記念事業、肥前浜宿移住体験施設整備事業を新規に計上して

おります。

また、社会医療法人祐愛会様、鹿島機械工業株式会社様、株式会社宮園電工様、東亜工機株式会社様から青少年教育振興のための御寄附をいただいております。このほか、図書購入の指定寄附もいただいておりますので、それぞれ御寄附の趣旨に従い有効に活用させていただくこととしております。

続きまして、議案第32号 平成29年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

今回の補正は、主なものとしまして、公共下水道建設費において下水道地域活力向上計画策定業務委託料を計上いたすものでございます。

最後に、議案第33号 佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更に係る協議について申し上げます。

昨年の12月に発足しました神崎市・吉野ヶ里町葬祭組合が佐賀県市町総合事務組合に加入され、議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償などの事務の共同処理に参加されることに伴い、佐賀県市町総合事務組合の規約変更について協議をする必要があるため、地方自治法第290条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

以上、提案をいたしました議案の概要につきまして説明をいたしました。その詳細につきましては、御審議の際、担当の部長または課長が御説明をいたしますので、よろしく御審議をいただきますようお願いを申し上げます。

以上でございます。

○議長（松尾勝利君）

以上で本日の日程は終了いたしました。

明10日から13日までの4日間は休会とし、次の会議は6月14日、午前10時から開き、議案審議を行います。

なお、この後、11時から全員協議会を行いますので、議員の皆さんは全員協議会室に集まってください。

本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

午前10時40分 散会